

# さよなら、赤のトラクター

1996年に世羅西町にやってきて、初めて買ったトラクター。赤い色がきれいで、「赤のトラクター」と呼んでいましたが、最近故障も多く、動かすことがなくなっていました。

## 1996年3月 赤のトラクターがやってきた

世羅西の畑へやってきてすぐに、近所の方の紹介で、トラクターを購入しました。

**Massey Ferguson 135**、イギリス製です。その当時ですでに購入後30年以上たっている機械でしたが、まだ部品の供給があり、具合の悪いところを修理してもらい使い始めました。シンプルで、使いやすいトラクターでしたが、後輪駆動の為、雨の後のぬかるんだ畑では立ち往生してしまうこともありました。



初めてのトラクター



ハウス周りの整備に活躍



年賀状にも登場しました

## 1997年4月 青のトラクターがやってきた

トラクター販売店の春の展示会で見つけた、4輪駆動の**FORD 2060**トラクター。FORDブランドだけど、日本(北海道)製です。ぬかるんだ畑でも作業ができるようになり、便利になりました。2台トラクターがあることで、赤のトラクターで耕した後、青でマルチ張りができるようになり、作業機の付け替えが減り、楽になりました。



2台目トラクター



ぬかるんだ畑も



## 2003年3月 2台目青のトラクター(現行)

6年頑張ってくれた青のトラクターでしたが、エンジンのシリンダブロックにひびが入って、冷却液が漏れるようになり引退となりました。その後、今も現役の**New Holland TN55S**トラクターがやってきました。赤のトラクターと同じイギリス製。今までの2台より力強い50馬力で、プラウ作業や芋ほり(今はイノシシ対策で芋は栽培していません)も楽にできるようになりました。

赤のトラクターも耕起などの作業をして活躍していました。



3台目トラクター



プラウ作業(前)



プラウ作業(後)



ジャガイモの収穫

## 2021年7月 赤のトラクターとの別れ

先月のある日、近所の梨園の方が、赤のトラクターを譲ってほしいと言われてきました。背の低いトラクターは、果樹の下で作業するのに必要なそうです。20数年付き合っていたので、名残惜しかったのですが、畑で錆びさせるよりも、少しでも役立ってくれるのなら、トラクターも喜ぶだろうと思い、お譲りすることにしました。実際にもらわれ行くと、少し寂しい気もしています。25年間ありがとう。



草に埋もれたトラクター



ウィンチで引張りだす



荷台に引き上げて



固定して完了